

令和6年度 3年次生 学びのプラン

教科名	国語	単位数 (コマ数)	2単位 (2コマ)	履修年次	3年次		
科目名	文章表現	履修	選択	開講	通年		
教科書	なし	副教材	文章トレーニングノート(第一学習社)				
1 学習の目標							
・社会的事象に関心を持つとともにその背景を探り、物事を多角的な視点で捉える力を養う。 ・様々な表現形態に触れて自らの考えを文章化するとともに、他者の考えも知り、自他の理解につなげる。 ・読み言葉と書き言葉の特徴を理解し、書く力を身に付ける。							
2 学習の方法							
1授業について ①授業は週2コマで行う。はじめはテキストに沿って話し言葉と書き言葉を理解するとともに、原稿用紙の使い方に従って繰り返し書く練習をする。 ②文章作成の基礎基本を身に付けたら、身近なテーマから多様な社会的テーマについて客観的材料を基に自らの主張を文章化する。同時に発表、討議などの「話す」活動も行う。 2携行する物 副教材、ファイル(配布物や収集した資料を保管する)。その他必要に応じて指示をする。							
3 評価について							
①評価の観点							
知識・技能	適切な言葉で表現する知識・技能を身に付けている。 原稿用紙をはじめ、各種書式に合わせて文章化することができる知識・技能を身に付けている。						
思考・判断・表現	多種多様な情報の中から適切に資料を選択し、客観的視野を持って物事を分析・判断し、自己の主張を効果的な構成で文章化することができる力を身に付けている。						
主体的に学習に取り組む態度	文章表現をはじめとした言語活動を通じて人間関係を築き、心豊かな社会生活を営もうとする態度を身に付けている。						
②評価の方法							
観点	材料	定期 考查	単元 テスト	課題	ワーク シート	グループ ワーク	評価方法
知識・技能				○	○		毎時提出する課題(文章など)・ワークシート
思考・判断・表現				○	○	○	毎時提出する課題(文章など)・ワークシート
主体的に学習に取り組む態度				○	○		積極的に課題に取り組むとともに、自ら解決していこうとしている姿勢。
4 その他							
・定期考查は行わず、課題・ワークシートなどを提出を求める。							

5 単元の目標・評価	
科目名	文章表現 単元名 話し言葉と書き言葉、原稿用紙の使い方
単元の目標	話し言葉と書き言葉の違いを理解し、適切な表現を用いて文章を書く基礎知識を身に付ける。
育成を目指す力	傾聴力 発信力 想像力 創造力 計画力 知識活用力 分析力 課題発見力 自己肯定力 行動力
評価の観点	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<p>文章を書く上での基礎となる言葉の用法を理解している。</p> <p>日常の中で陥りがちな言葉の誤用を確認し、正しく記述するように努めている。</p> <p>文章を丁寧に書くとともに、的確な書き言葉を使うように努めている。</p>

科目名	文章表現 単元名 身近な問題について自分の考えを持ち、わかりやすく伝える。
単元の目標	身近な問題に当事者意識を持ち、自分の体験に基づいた考えをわかりやすく伝える。
育成を目指す力	傾聴力 発信力 想像力 創造力 計画力 知識活用力 分析力 課題発見力 自己肯定力 行動力
評価の観点	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<p>原稿用紙の正しい使い方や正しい書き言葉で文章を書くことができる。</p> <p>ワークシートに草稿メモをとり、正しい表記で書くことに努めている。</p> <p>課題に沿った内容を自らの体験に基づいて、わかりやすく書くようとしている。</p>

科目名	文章表現 単元名 手紙の書き方
単元の目標	手紙の基礎を知り、時候の挨拶をつかって書く。
育成を目指す力	傾聴力 発信力 想像力 創造力 計画力 知識活用力 分析力 課題発見力 自己肯定力 行動力
評価の観点	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<p>敬体で定形の文章を書き、ハガキや手紙の送付方法について理解している。</p> <p>時節や相手との関係性にふさわしい表現を用いて書くことができる。</p> <p>相手を想定して、目的に応じた文面になるように心がける。</p>

科目名	文章表現 単元名 社会が抱える問題について、自分の主張を述べる。
単元の目標	現代社会が抱える諸問題に関心を持ち、自分との関係性を意識して文章化する。
育成を目指す力	傾聴力 発信力 想像力 創造力 計画力 知識活用力 分析力 課題発見力 自己肯定力 行動力
評価の観点	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<p>現代社会の諸問題について、それぞれの立場の考えを理解している。</p> <p>現代社会の諸問題を分析し、考察して自分の考えをまとめようとしている。</p> <p>現代社会の諸問題に関心を持ち、その本質を探り客観的立場で考えをまとめようとしている。</p>

科目名	文章表現	単元名	実用的な文章							
単元の目標	実社会で求められる実用的な文章を知り、社会への関心を高める。									
育成を目指す力	傾聴力	発信力	想像力	創造力	計画力	知識活用力	分析力	課題発見力	自己肯定力	行動力
評価の観点	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			
評価規準	実用的な文章が持つ客観性を理解している。			文章の特徴を理解し、注意深く読むことができる。			社会生活を送る上で必要な語彙や文章形体を理解している。			

科目名	文章表現	単元名	創作							
単元の目標	作家に挑戦～散文を書く									
育成を目指す力	傾聴力	発信力	想像力	創造力	計画力	知識活用力	分析力	課題発見力	自己肯定力	行動力
評価の観点	知識・技能				思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度		
評価規準	・構成を考える ・センテンスは短くする。 ・脈絡を考える。 ・些事に拘らない。 ・レトリックは多用は避ける。				・草稿を練る。 ・独善に陥らず、読み手を念頭に置いた文章を心がける。			意欲的に創作に取り組んでいる。		

6 年間計画					
学期	月	単元	項目	予定 時数	考 査
前期	4	オリエンテーション 〈通年〉 ①多種多様なジャンルの表現に触れて感応したことを文章化する。 ②時候の挨拶文を書く。 ③日常的に短文を書く習慣をもつ。	①芸術作品など言葉以外の表現に触れる。 ②二十四節気を知る。 ③折々の心の動きを短文で書き留める。	2	前期 中間 考査
	5	○話し言葉と書き言葉 ・文章は書き言葉で書く ・文の乱れをなくそう ・文のつながりを意識しよう	・話し言葉と書き言葉の違いを理解する。 ・表記上注意すべき係り受け、主述関係などを理解する。	4	
	6	○原稿用紙の使い方(縦書き・横書き) ・原稿用紙の約束事と表記上のルール	・原稿用紙の使い方を理解する。	4	
	7	○身近な事柄について自分の考え方をわかりやすく伝える。 ・自己紹介 ・私の・・・ほか	・原稿用紙(600～800字) ※暑中(残暑)見舞い	8	前期 期末 考査・ 後期 中間 考査
	8	○手紙の書き方 ・時候の挨拶 ・宛名にふさわしい敬称 ・手紙の形式 ・郵便の種類(書留・簡易書留など)	・ハガキや手紙の基礎知識	4	
	9	○現代社会が抱える問題について自分の考えを述べる。 ・社会問題について項目別の資料を読む。 ・内容を精査して自分なりの結論を持つ。 ・結論に至るまでの具体を用意する。 ・想定される反論を考える。	・社会について正しい認識を持つ。 ・自分の主張の根拠を立てる。 ・反論に対して理論的に答えられる力を養う。	12	
後期	10				後期 期末 考査
	11	○様々な文章・実用的な文章のあり方を知る。 ○作家に挑戦		8 8	
	12				
	1				
	2 3				